

音楽

7月から小学部を中心に中学部、愛徳分教室に外部講師として「embrace」さんに来ていただきました。「embrace」さんは本校の保護者1名を含む4名の音楽ユニットです。児童生徒はマリンバ（木琴）やサクソ、ピアノに合わせて、「となりのトトロ」や「パプリカ」などを合唱したり、曲に合わせて手作り楽器で演奏したりしました。

子どもたちは、授業で取り組んでいる曲は身振り手振りで振り付けをしたり、大きな声で歌ったりと活動的で楽しい授業になりました。



和太鼓の訪問演奏会

7月17日（水）に中学部1ブロック2、3年生が特別養護老人ホーム大日山荘で訪問演奏会を行いました。前半は和太鼓演奏を披露した後、施設の利用者さんと生徒が一緒になって和太鼓を演奏し交流しました。利用者さんに和太鼓のリズムを伝えて一緒に演奏する場面では、音やリズムを利用者さんと合わせようとする生徒たちの姿が見られました。後半は手話を交えながら「きみとぼくの間に」「ともだちになるために」「ふるさと」を一緒に歌いました。演奏終了後には大きな拍手をいただき、生徒たちの達成感や自信につながったようです。また、

演奏会の模様が和歌山新報さんに掲載され、自分たちの頑張りがより一層感じられた様子でした。



藤白の獅子舞

8月2日（月）愛徳分教室に和歌山の伝統文化に触れる学習として、藤白の獅子舞保存会のみなさんにゲストティーチャーとして来ていただき、和歌山県指定無形民俗文化財である藤白の獅子舞と笛や和太鼓の演奏を鑑賞しました。

藤白の獅子舞は平安時代から伝わるものであり、2017年には日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」の構成文化財としても指定されています。

4人で演じる獅子舞の迫力に児童生徒は、最初、体をのけぞらせたり、教師にしがみついたりしていましたが、獅子を操る天狗の登場や笛、和太鼓の軽快な演奏が流れると少しずつリラックスして、獅子の躍動感ある舞を楽しく観賞したり受け継がれてきた文化や歴史を感じたりすることができました。

授業後に児童生徒から「ありがとうございました」の気持ちを込めて、保存会のみなさんに手作りのお礼状を届けました。



生徒総会について

8月8、9日に第7回和歌山県特別支援学校高等部生徒会総会があり、本校高等部生徒会役員4名が参加しました。1日目は、各校の学校紹介や「みんなでしゃべり場」と題して各校の生徒会メンバーと意見交換をして交流を深めました。2日目は、フライングディスク教室が行われ、スポーツの醍醐味を感じることができ大盛り上がりでした。2日間を通して、学校の枠を越えた仲間作りができ、生徒達の充実した表情が印象的でした。

